

# 立正大学博物館年報

## 2

平成15 (2003) 年度

立正大学博物館

# 序

開館2年目の平成15（2003）年度は、「企画展」と「特別展」の開催、『館蔵資料「基礎文献」叢刊』と『万吉だより（館報）』の発行など、予定された事業をほぼ完遂することができた。

「企画展」は、所蔵資料の紹介として退色したカラースライドの再生活用、「特別展」は館蔵資料の公開を目的として古代窯跡発掘品を展示した。それぞれ有用な企てとして江湖の好評を得ることができた。また、特別展に関連する事業として「パネルディスカッション」を開催し、その意義付けを意図した。

常設展示については、不断の来館者を対象として、解説パネルの補訂、展示品ラベルの増加を計る一方、時間の許す限り館員が対応する方向で努力を重ねてきた。

公立博物館における博物館協議会に相当する「運営委員会」（規定第7条）の席上で指摘された事項の実施については速やかに検討してきた。なお、博物館法に定められている登録博物館と同等の大学付置「相当博物館」施設の登載を開館2年目にして果たすことができたのである。

平成16(2004)年3月

館長 坂 浩 秀 一

---

|                     |                                        |
|---------------------|----------------------------------------|
| 序                   | (6) 講演会等                               |
| I. 博物館の概要 …………… (2) | (7) 収集 保存                              |
| (1) 組織と職員           | (8) 調査 研究                              |
| (2) 立正大学組織表         | (9) 教育 普及                              |
| (3) 立正大学博物館規定       | (10) 資料活用                              |
| (4) 立正大学博物館細則       | III. 日 誌 (抄) …………… (25)                |
| (5) 施 設             | IV. 寄贈図書目録 …………… (32)                  |
| (6) その他             | V. 資 料 …………… (37)                      |
| II. 事業報告 …………… (14) | (1) 第1回企画展（「写真でみる日本古代木<br>造塔の心礎」）解説目録  |
| (1) 運営委員会           | (2) 第1回特別展（「立正大学が発掘した埴<br>玉の古代窯跡」）解説目録 |
| (2) 平成15年度収支報告      |                                        |
| (3) 開館日数・入館者数       |                                        |
| (4) 出 版             |                                        |
| (5) 展 示             |                                        |
| 1. 常設 2. 企画展 3. 特別展 |                                        |

# I. 博物館の概要

## (1) 組織と職員

### a. 職員

|      |      |
|------|------|
| 館長   | 坂詰秀一 |
| 専門職員 | 上野恵司 |
| 事務員  | 田村佳道 |

### b. 運営委員

|       |      |           |
|-------|------|-----------|
| 第1号委員 | 坂詰秀一 | (博物館長)    |
| 第2号委員 | 上野恵司 | (専門職員)    |
| 第3号委員 | 清水千尋 | (法学部長)    |
|       | 田口正己 | (社会福祉学部長) |

第4号委員 佐美光彦 (経済研究所長)

千歳壽一 (環境科学研究所長)

第5号委員 竹内 誠

(博物館関係学識経験者)

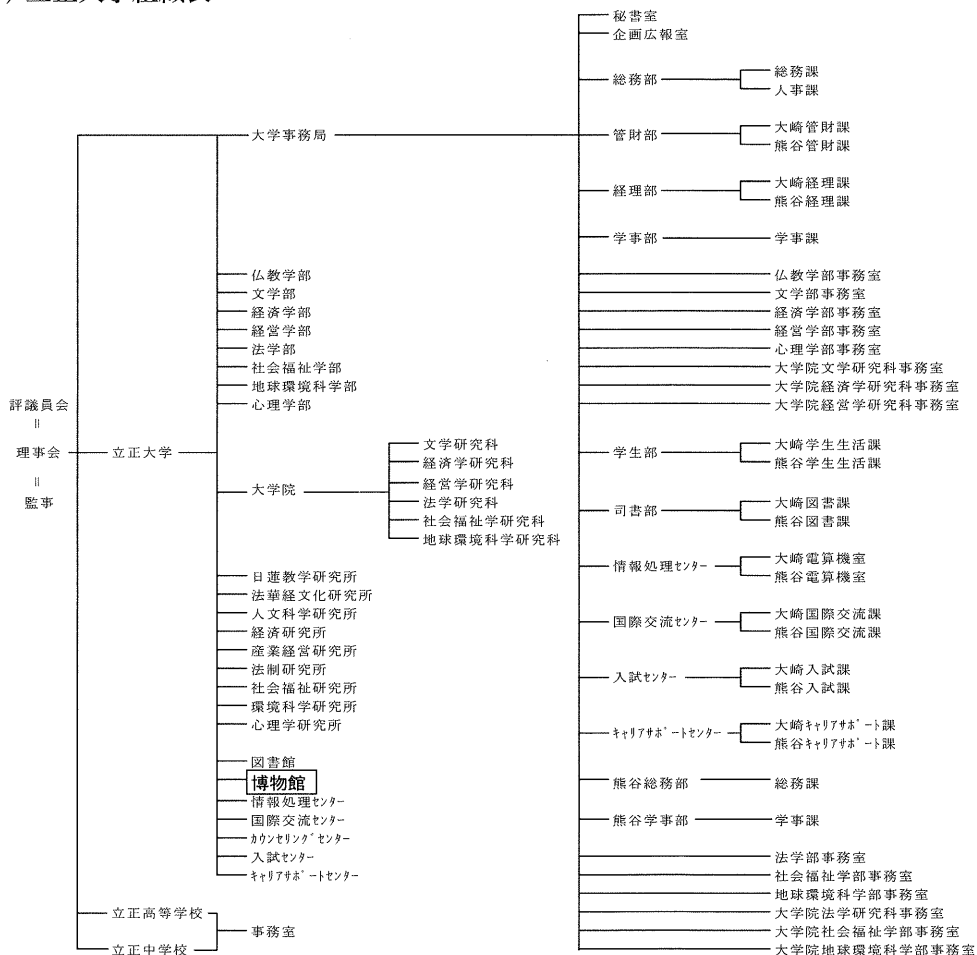
第6号委員 野沢佳美

(文化史関係学識経験者)

第7号委員 島津 弘

(自然誌関係学識経験者)

## (2) 立正大学組織表



### (3) 立正大学博物館規定

#### (設定)

第1条 立正大学学則第9条の規定に基づき、熊谷キャンパスに「立正大学博物館」(以下「博物館」という)を置く。

#### (目的)

第2条 博物館は歴史・芸術・民俗・産業・自然誌に関する学術的資料(以下「資料等」という)を収集、保管し、これを組織的に展示し、広く社会に公開するとともに、これらの調査研究を行うことによって大学における教育・研究の発展に寄与することを目的とする。

#### (事業)

第3条 博物館は前条に規定する目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 資料等の収集、整理および保管
- 二 資料等の展示および公開
- 三 調査研究活動
- 四 調査研究成果の発表および出版
- 五 本学における博物館関係科目、その他関連授業科目の教育活動への協力
- 六 講演会、講習会および特別展示会の開催
- 七 その他必要な事業

#### (職員)

第4条 博物館に次の職員を置く。

- 一 館長
- 二 専門職員

#### (館長)

第5条 博物館に館長を置く。

- 2 館長は博物館を代表し、博物館の教務を総括する。
- 3 館長は全学協議会に諮り、本学専任教職員より学長が任命する。
- 4 館長の任期は3年とし、再任を妨げない。

い。

- 5 館長が欠けたときは、補充しなければならない。この場合において、その任期は前任者の残任期間とする。

#### (専門職員)

第6条 専門職員は第3条に定める事業に従事するとともに、これに関連する業務を行う。

- 2 専門職員は博物館学芸員の資格を有するものとし、任期は3年とする。

#### (運営委員会)

第7条 博物館の管理運営に必要な事項を審議するため、博物館運営委員会(以下「委員会」という)を置く。

#### (委員会・構成)

第8条 委員会は、次の者を以て構成し、学長が委嘱する。

- 一 館長
- 二 専門委員
- 三 学部長から2名
- 四 研究所長から2名
- 五 博物館学芸員関係学識経験者から1名
- 六 考古学および文化史関係学識経験者から1名
- 七 自然誌関係学識経験者から1名

- 2 館長の推薦により、前項に定める委員会のほか、学識経験者若干名を加えることができる。学識経験者委員の委嘱は学長が行う。

- 3 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる。

#### (委員の任期)

第9条 前条第三号乃至六号および第2項の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 任期中に欠員が生じた場合は、委員を補充し、任期は前任者の残任期間とする。

(委員会の運営)

第10条 委員会は、館長が召集し、議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席委員の過半数の同意をもって決する。

(委員会の審議事項)

第11条 委員会は、以下の事項について審議する。

- 一 資料等の収集、整理、保管、展示および公開に関する事項
- 二 博物館の管理運営に関する事項
- 三 調査研究活動ならびにその成果の発表および出版に関する事項

#### (4) 立正大学博物館細則

(趣旨)

第1条 この細則は立正大学博物館規程第12条の規定に基づき、同規程の施行について必要な事項を定めるものとする。

(開館日)

第2条 立正大学博物館（以下「博物館」という）の開館日は原則として立正大学学則第31条に定める休業日および火曜日を除く日とする。

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前10時から午後4時までとする。

(入館手続)

第4条 博物館に入館する者は、所定の手続きをとらなければならない。

- 2 館長は博物館における教育および研究活動に支障があると認める場合は、入館を許可しないことがある。

四 博物館関係科目、その他関連授業科目の教育活動への協力に関する事項

五 博物館の予算・決算に関する事項

六 その他必要な事業に関する事

(細則)

第12条 この規定に定めるもののほか、管理運営上必要な事項は、立正大学博物館規定細則によるものとする。

(規程の改廃)

第13条 本規程の改廃は委員会および全学協議会の議を経るものとする。

附則

この規程は平成14年4月1日から施行する。

(入館料)

第5条 博物館の入館料は原則として無料とする。

(入館者の義務)

第6条 入館者は博物館の施設・資料等を毀損し、または滅失したときは、直ちに館長に届け出て、その指示に従わなければならない。

- 2 入館者は前項の規定にある損害に対し損害賠償の義務を負わなければならない。ただし、事情によりこれを免除または軽減することができる。

(資料等の利用)

第7条 博物館内において撮影、実測、特殊観察、複製製作の目的で資料等の利用を希望する者は、館内利用許可申請書(様式1)を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 資料の所蔵者または寄託者が学外にある場合は、当該資料の利用を希望する者は事前に所蔵者または寄託者の承認を受け、それを証明する書類を利用許可申請書に添付しなければならない。
- 3 利用を許可された者は次に掲げる事項を遵守しなければならない。
  - 一 利用に際しては博物館の専門職員の支持に従うこと。
  - 二 利用による成果を刊行物、映画フィルム、ビデオテープ等に発表したときは、本博物館の名称およびその所蔵、または保管である旨を明記すること。
  - 三 利用により生じた著作物等は利用許可申請書に記載の目的以外には使用しないこと。
  - 四 館長は、第1項の利用許可申請書の提出があったときは、審査のうえ館内利用許可書(様式2)を交付する。ただし、重要文化財およびこれに準ずる資料等については、立正大学博物館運営委員会(以下「委員会」という)の議を経なければならない。なお、館長は管理上支障があると判断した場合は、許可を取り消すことができる。
  - 五 本条第1項による利用許可を受けた者が、当該資料を毀損した場合は、損害賠償の義務を負わなければならない。

(資料等の利用料金)

- 第8条 前条第3項により許可を受けた者は、別に定める利用料金を速やかに経理部に納入しなければならない。
- 2 館長は、前項の定めにかかわらず次の各号のいずれかに該当する場合は、利

用料金を全額免除することができる。

- 一 各種教育機関や国または地方公共団体および公益法人が行う教育、学術および文化等に関する事業
  - 二 博物館法(昭和26年法律第285号)に規定する博物館等の行う事業
  - 三 学術研究
  - 四 前号のほか、館長が全額免除すべき特別の理由があると認めたとき
- 3 前項の定めにより利用料金を全額免除された者は、利用により生じた著作物1部以上を無償で博物館に納入しなければならない。ただし、館長が認めたときはこの限りでない。

(資料等の貸出)

- 第9条 資料などの貸出を受けようとする者は、館外貸出許可申請書(様式3)を館長に提出し、その許可を受けなければならない。
- 2 館長は前項の貸出許可申請書(様式3)の提出があったときは、審査のうえ館外貸出許可書(様式4)を交付する。ただし、重要文化財およびこれに準ずる資料等については、委員会の議を経て決定しなければならない。
  - 3 館長は管理上支障があると認められる場合は、前項の許可を取り消すことができる。
  - 4 本条第1項による許可を受けた者は、貸出期間中に当該資料等を毀損または滅失した場合は、損害賠償の義務を負わなければならない。

(資料等の貸出料金)

- 第10条 前条第2項による許可を受けた者は、別に定める利用料金を速やかに経理部に納入するとともに、貸出期間中および貸出に伴うすべての経費を負担する

ものとする。

- 2 前項の定めにかかわらず、第8条第2項一号、二号および四号のいずれかに該当する場合は、貸出料金を全額免除する。
- 3 前項の定めにより貸出利用料金を全額免除された者は、利用により生じた著作物を1部以上、博物館に寄贈しなければならない。ただし、館長が特に認めたときはこの限りでない。

(寄託)

- 第11条 資料等を寄贈・寄託しようとする者は、その品目、点数、期間等を寄贈申請書(様式5)寄託申込書(様式6)に記入のうえ、館長に提出するものとする。
- 2 館長は前項に定める寄贈・寄託の申出があった時は、委員会の審議に附し、受入の承認がなされたものについて、

学長に意見書を提出しなければならない。

- 3 館長は寄贈・寄託を受けた時は、寄贈・寄託者に対して該当資料の受領証(様式7)・受託証(様式8)を交付するものとする。
- 4 館長は、寄託を受けた資料等について十分な注意を持って保管しなければならない。

(細則の改廃)

- 第12条 本細則の改廃は、委員会および全学協議会の議を経るものとする。

(附則)

- 1 この細則に定めのない事項については、館長がその都度、委員会に諮り処理する。
- 2 この細則は平成14年4月1日から施行する。
- 3 この細則は平成15年4月1日から施行する。

様式一覧

様式1

受付番号

立正大学博物館資料  
館内利用許可申請書

立正大学博物館長 様

住 所  
団 体 名  
代表者氏名  
電 話

年 月 日

様式2

第 号

立正大学博物館資料  
館内利用許可書

様  
立正大学博物館長 印

年 月 日

下記のとおり立正大学博物館資料の館内利用を許可します。

記

| 利 用 目 的   |                           |       |     |     |
|-----------|---------------------------|-------|-----|-----|
| 利 用 資 料   | 資 料 番 号                   | 資 料 名 | 数 量 | 備 考 |
|           |                           |       |     |     |
|           |                           |       |     |     |
|           |                           |       |     |     |
| 利 用 区 分   | 閲覧・複写・複製・撮影・その他 ( )       |       |     |     |
| 利 用 期 間   | 年 月 日 ( ) から 年 月 日 ( ) まで |       |     |     |
| 利 用 責 任 者 |                           |       |     |     |

※ この許可書は、立正大学博物館資料館内利用の際に提示し、利用期間中携帯してください。

記

下記のとおり立正大学博物館資料の館内利用をしたいので申請します。

| 利 用 目 的   |                           |       |     |     |
|-----------|---------------------------|-------|-----|-----|
| 利 用 資 料   | 資 料 番 号                   | 資 料 名 | 数 量 | 備 考 |
|           |                           |       |     |     |
|           |                           |       |     |     |
|           |                           |       |     |     |
| 利 用 区 分   | 閲覧・複写・複製・撮影・その他 ( )       |       |     |     |
| 利 用 期 間   | 年 月 日 ( ) から 年 月 日 ( ) まで |       |     |     |
| 利 用 責 任 者 |                           |       |     |     |

※ 寄託資料については寄託者の承認書を、借用資料については貸与者の承認書を、著作権者がある資料については著作権者の承認書を添付してください。

様式3

受付番号

立正大学博物館資料  
館外貸出許可申請書

年 月 日

立正大学博物館長 様

住 所  
団 体 名  
代表者氏名  
電 話

様式4

第 号

立正大学博物館資料  
館外貸出許可書

年 月 日

様  
立正大学博物館長 印

下記のとおり立正大学博物館資料の館外貸出しを許可します。

記  
下記のとおり立正大学博物館資料の館外貸出しを受けたいので申請します。

| 利 用 的     |                           |       |     |     |
|-----------|---------------------------|-------|-----|-----|
| 貸 出 資 料   | 資 料 番 号                   | 資 料 名 | 数 量 | 備 考 |
|           |                           |       |     |     |
|           |                           |       |     |     |
|           |                           |       |     |     |
|           |                           |       |     |     |
| 貸 出 期 間   | 年 月 日 ( ) から 年 月 日 ( ) まで |       |     |     |
| 利 用 場 所   |                           |       |     |     |
| 利 用 方 法   |                           |       |     |     |
| 輸 送 方 法   |                           |       |     |     |
| 取 扱 責 任 者 |                           |       |     |     |

※ 寄託資料については寄託者の承認書を、著作権者がある資料については著作権者の承認書を添付してください。

記

| 利 用 的     |                           |       |     |     |
|-----------|---------------------------|-------|-----|-----|
| 貸 出 資 料   | 資 料 番 号                   | 資 料 名 | 数 量 | 備 考 |
|           |                           |       |     |     |
|           |                           |       |     |     |
|           |                           |       |     |     |
|           |                           |       |     |     |
| 貸 出 期 間   | 年 月 日 ( ) から 年 月 日 ( ) まで |       |     |     |
| 利 用 場 所   |                           |       |     |     |
| 利 用 方 法   |                           |       |     |     |
| 輸 送 方 法   |                           |       |     |     |
| 取 扱 責 任 者 |                           |       |     |     |

※ この許可書は、立正大学博物館資料の館外貸出しを受ける際に提示してください。

博物館資料寄贈申請書

博物館資料寄託申請書

年 月 日

年 月 日

立正大学博物館長 様

立正大学博物館長 様

申請者

申請者

住所

住所

氏名

氏名

電話

電話

印

下記のとおり博物館資料として寄贈したいので申請します。

下記のとおり博物館資料として寄託したいので申請します。

記

記

| 資 料 名 | 数 量 | 備 考 |
|-------|-----|-----|
|       |     |     |
|       |     |     |
|       |     |     |
|       |     |     |
|       |     |     |
|       |     |     |

| 寄託期間 | 年 月 日 ( ) から |     |     | 年 月 日 ( ) まで |  |  |
|------|--------------|-----|-----|--------------|--|--|
|      | 資 料 名        | 数 量 | 備 考 |              |  |  |
|      |              |     |     |              |  |  |
|      |              |     |     |              |  |  |
|      |              |     |     |              |  |  |
|      |              |     |     |              |  |  |
|      |              |     |     |              |  |  |
|      |              |     |     |              |  |  |

様式7

第 号

博物館資料受領証

年 月 日

様

立正大学博物館長 印

様式8

第 号

博物館資料受託証

年 月 日

様

立正大学博物館長 印

下記のとおり博物館資料として受領しました。

記

| 資 料 名 | 数 量 | 備 考 |
|-------|-----|-----|
|       |     |     |
|       |     |     |
|       |     |     |
|       |     |     |
|       |     |     |
|       |     |     |
|       |     |     |

下記のとおり博物館資料として受託しました。

記

| 受 託 期 間 | 年 月 日 ( ) から | 年 月 日 ( ) まで |
|---------|--------------|--------------|
| 受 託 資 料 | 資 料 名        | 数 量          |
|         |              |              |
|         |              |              |
|         |              |              |
|         |              |              |
|         |              |              |
|         |              |              |

博物館資料借用書

年 月 日  
様

立正大学博物館長 印

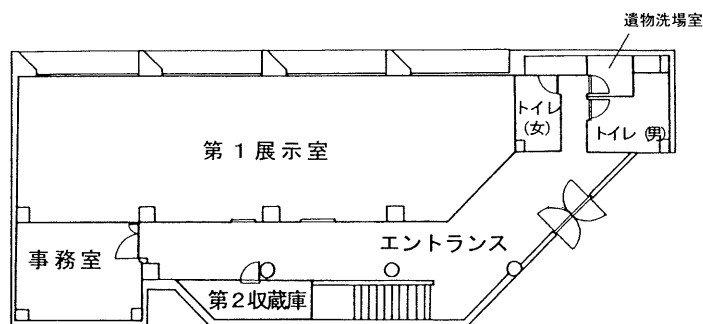
下記のとおり博物館資料として借用しました。

記

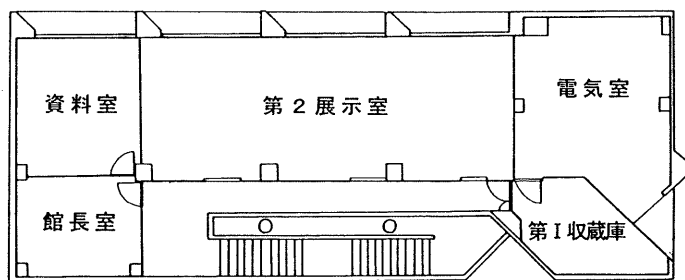
|       |                           |     |     |  |
|-------|---------------------------|-----|-----|--|
| 使用期間  | 年 月 日 ( ) から 年 月 日 ( ) まで |     |     |  |
| 借用理由  |                           |     |     |  |
| 借用資料  | 資 料 名                     | 数 量 | 備 考 |  |
|       |                           |     |     |  |
|       |                           |     |     |  |
|       |                           |     |     |  |
|       |                           |     |     |  |
| 取扱担当者 |                           |     |     |  |

※ この借用書は、博物館資料の返却時に返していただきますので、大切に保管してください。

## (5) 施設



博物館 1階 平面図



博物館 2階 平面図

(S=1/200)

- 建物
- 所 在…… 埼玉県熊谷市万吉1700
- 建築面積…… 376.8㎡
- 構 造…… 鉄筋コンクリート造 2階建

### ● 各室面積一覧

(1階)  
 第1展示室 ……93.88㎡  
 事務室 ……17.10㎡  
 第2収蔵庫 ……3.22㎡  
 トイレ ……11.01㎡  
 遺物洗場室 ……2.26㎡

エントランス……45.64㎡  
 (2階)  
 第2展示室 ……71.22㎡  
 館長室 ……16.98㎡  
 資料室 ……23.89㎡  
 第1収蔵庫 ……12.30㎡  
 電気室 ……39.00㎡

### ● 各室仕様

(第1展示室・事務室)  
 床 ……タイルカーペット敷  
 壁 ……ビニールクロス貼り  
 天井……ミネラートン  
 (第2展示室)  
 床 ……タイルカーペット敷  
 壁 ……ビニールクロス貼り  
 天井……ミネラートン

(館長室・資料室)  
 床 ……タイルカーペット敷  
 壁 ……ビニールクロス貼り  
 天井……ジブトーン

● 電気設備  
 受電設備 ……6.6KV  
 変圧器設備 ……電灯100KVA  
 動力80KVA  
 照明設備 ……展示室ハロゲンランプ使用。  
 館長室・事務室・

資料室一室光灯使用。  
 ● 防犯・防災設備  
 防犯設備 ……各室、熱線センサー取付、  
 非常通報設備。  
 I T V 設備 ……CCDカメラ4台、  
 展示室等監視。  
 自動火災報知設備 ……P型1級5回線  
 消火設備 ……粉末消火器9台

● 空調設備  
 空調機 ……空冷式、  
 パッケージエアコン(個別)

● 給排水設備  
 給水設備 ……市水道使用  
 給湯設備 ……貯湯式電気湯沸器

● 付設  
 第3収蔵庫 ……79.32㎡  
 臨時収蔵庫 ……94.50㎡

## (6) その他

平成16年3月30日(火)をもって埼玉県教育委員会より、下記の通り博物館に相当する施設として指定された。

教 文 第 3670 号

平成16年3月30日

立正大学学長 吉田 榮夫 様

埼玉県教育委員会教育長

稲 葉 喜 徳

(公印省略)

### 博物館に相当する施設の指定について (通知)

平成16年3月26日付けで申請のあった標記のことについて、下記の施設を平成16年3月30日付けをもって博物館に相当する施設に指定しましたので、この旨通知します。

### 記

- 1 施 設 名 立正大学博物館
- 2 所 在 地 埼玉県大里郡江南町大字野原字鹿嶋557番地 1

## II. 事業報告

### (1) 運営委員会

・第1回 博物館運営委員会

日 時 平成15年4月4日(金)

15:00 ～ 16:00

会 場 熊谷キャンパス 第2会議室

出席委員

坂誥秀一・清水千尋・千歳壽一・竹内 誠・  
野沢佳美・島津 弘・上野恵司・田村佳道(事務局囑託)

本日の出席者は7名、欠席者2名の報告があり、博物館規定第10条の2項により成立。

議 事

#### I. 報告事項

- 1, 平成14年度事業報告
- 2, 平成14年度決算報告

#### II. 審議事項

- 1, 平成15年度事業計画(案)
- 2, 博物館相当施設申請の件
- 3, 平成15年度予算(案)
- 4, 立正大学博物館規定・細則改正の件
- 5, その他

・第2回 博物館運営委員会

日 時 平成15年12月8日(月)

12:30 ～ 13:30

会 場 立正大学博物館資料室

出席委員

坂誥秀一・清水千尋・田口正己・佐美光彦・  
千歳壽一・島津 弘・上野恵司・田村佳道(事務局囑託)

本日の出席者は7名、欠席者2名の報告があり、博物館規定第10条の2項により成立。

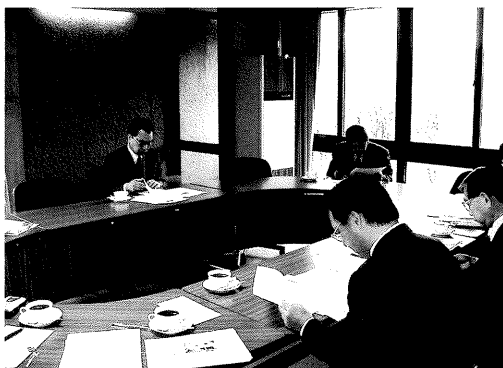
議 事

#### I. 報告事項

- 1, 平成15年度事業経過報告

#### II. 審議事項

- 1, 平成16年度事業計画(案)
- 2, 平成16年度予算概算要求(案)
- 3, その他



第1回 博物館運営委員会



第2回 博物館運営委員会

## (2) 平成15年度収支計報告

| 予 算 科 目 |                  | 15年度当初<br>予算 | 15年度<br>補正額 | 15年度補正<br>後予算 | 決 算       | 増 減     |
|---------|------------------|--------------|-------------|---------------|-----------|---------|
| 目的及び大科目 | 小（細）科目           |              |             |               |           |         |
| 人 件 費   |                  | 371,000      | 190,000     | 561,000       | 559,751   | 1,249   |
|         | 教員人件費            | 11,000       | 0           | 11,000        | 11,111    | -111    |
|         | その他の手当て<br>(教・本) | 11,000       | 0           | 11,000        | 11,111    | -111    |
|         | 職員人件費            | 360,000      | 190,000     | 550,000       | 548,640   | 1,360   |
|         | 雑給（職・兼）          | 360,000      | 190,000     | 550,000       | 548,640   | 1,360   |
| 教育研究経費  |                  | 2,570,000    | -29,000     | 2,541,000     | 2,517,239 | 23,761  |
|         | 会議会合費            | 100,000      | 0           | 100,000       | 100,528   | -528    |
|         | 旅費交通費            | 260,000      | -100,000    | 160,000       | 157,320   | 2,680   |
|         | その他の旅費交通費        | 260,000      | -100,000    | 160,000       | 157,320   | 2,680   |
|         | 通信運搬費            | 220,000      | 165,000     | 385,000       | 330,269   | 54,731  |
|         | 電 話 料            | 120,000      | 0           | 120,000       | 94,264    | 25,736  |
|         | その他の通信運搬費        | 100,000      | 165,000     | 265,000       | 236,005   | 28,995  |
|         | 消耗品費             | 400,000      | 61,000      | 461,000       | 441,507   | 19,493  |
|         | 印刷製本費            | 1,260,000    | 0           | 1,260,000     | 1,334,591 | -74,591 |
|         | コピー料             | 360,000      | 0           | 360,000       | 436,946   | -76,946 |
|         | その他の印刷製本費        | 900,000      | 0           | 900,000       | 897,645   | 2,355   |
|         | 諸 会 費            | 10,000       | 0           | 10,000        | 10,000    | 0       |
|         | 図書資料費            | 100,000      | -65,000     | 35,000        | 34,808    | 192     |
|         | 手数料報酬            | 200,000      | -90,000     | 110,000       | 99,999    | 10,001  |
|         | 雑 費              | 20,000       | 0           | 20,000        | 8,217     | 11,783  |
| 合 計     |                  | 2,941,000    | 161,000     | 3,102,000     | 3,076,990 | 25,010  |

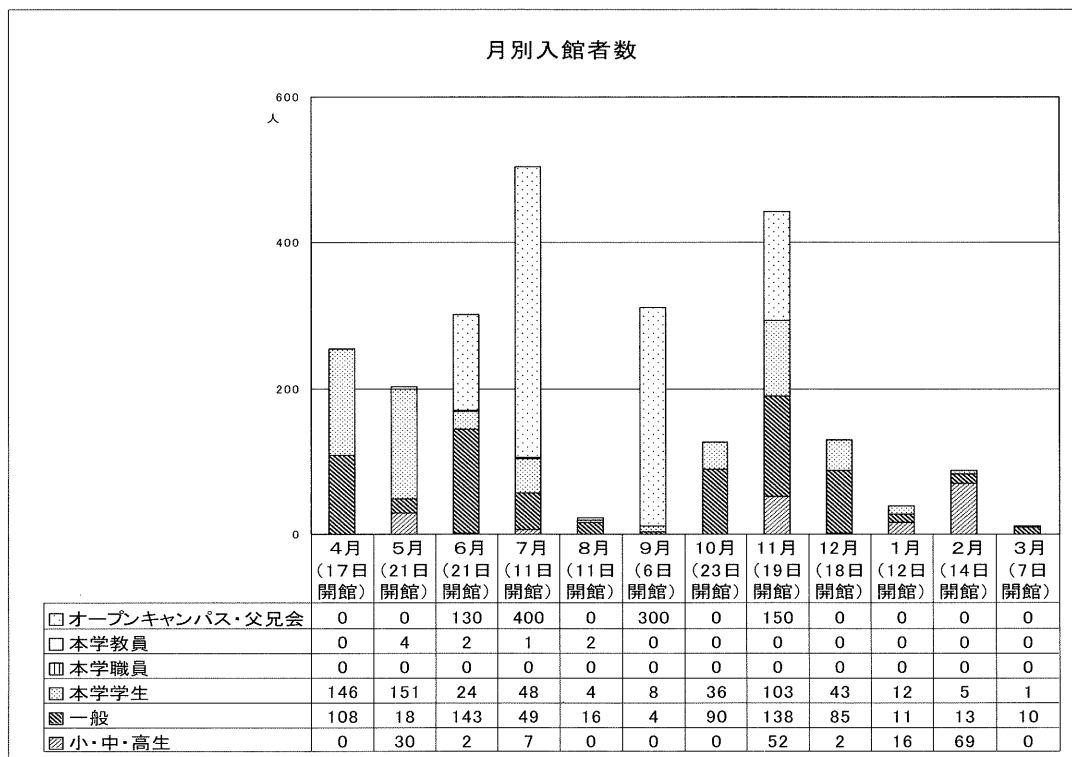
## (3) 開館日数・入館者数

平成15年4月1日から平成16年3月31日の間、180日開館した。本来大学休業日である夏・春期休暇中は開館していないが、外部からの要望もあり出来る限り開館に努めた。

入館者数は、4月が計254名、5月が計203名、6月が計301名、7月が計505名、8月が計22名、9月が計312名、10月が計126名、11月が計443

名、12月が計130名、1月が計39名、2月が計87名、3月が計11名、合計2,433名であった。

その内訳は、次頁表が示すように、小・中・高校生が計178名、一般が計685名、本学学生が計581名、本学教職員が計9名、オープンキャンパスが計980名であった。



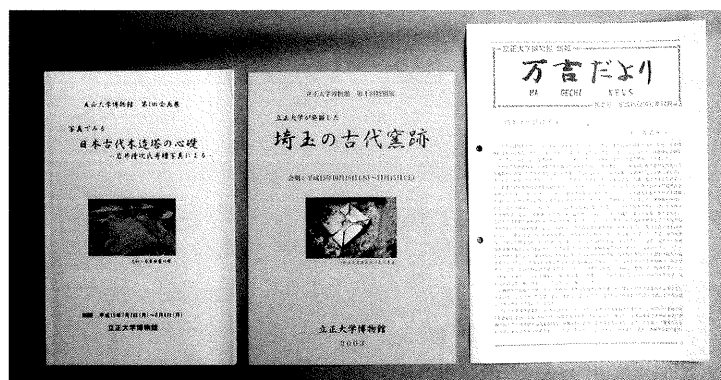
#### (4) 出版

本年度は、以下の本を刊行した。

・第1回 企画展図録『写真で見る「日本古代木造塔の心礎」－岩井隆次氏寄贈写真による－』

・第1回 特別展図録『立正大学が発掘した「埼玉の古代窯跡」』

・立正大学博物館報『万吉だより』第2号



平成15年度・出版物

## (5) 展 示

### 1. 常 設

#### ー第1展示室ー

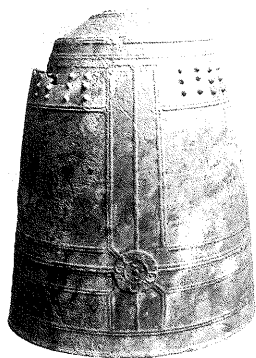
##### ①撫石庵コレクション

眞鍋孝志氏（古鐘研究会会長）より寄贈されたアジア諸地域の梵音具を中心とするコレクションである。

日本をはじめ、朝鮮半島・中国・タイ・ミャンマー・スリランカなどアジア各地の梵音具（鐘・鐸）のほか、金銅釈迦如来立像などが含まれている。

アジア梵音具の資料として稀有のコレクションであり、中国の甬鐘、伝タイの銅鼓をも加えての資料は注目される。

とくに、伝樺原市出土の平安時代前期の梵鐘は、わが国の初現期の梵鐘として10指に入るので、きわめて貴重な資料である。



伝樺原市出土の梵鐘

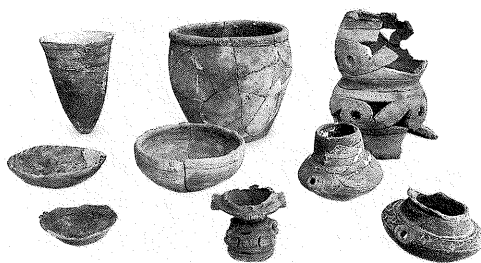
##### ②旧石器時代～古墳時代

旧石器時代～古墳時代にわたる資料。

旧石器時代では、日本の旧石器時代の代表的遺跡として知られる北海道白滝遺跡の出土品と本学が発掘した北海道報徳遺跡、神奈川県朝日遺跡の出土品などがある。とくに朝日遺跡は、獅子文六『箱根山』に登場する遺跡として有名

であるが、神奈川県下で最初に発掘された旧石器時代の遺跡としても知られている。

縄文時代では、埼玉県石神貝塚、千葉県築地台貝塚の出土品などがあり、縄文時代後～晩期の貝塚群の一括資料として知られている。



石神貝塚出土の土器

弥生時代では、東京都久ヶ原出土の弥生式土器がある。弥生時代後期の集落跡として著名な遺跡から昭和10年代に出土したものとして古くから考古学界に知られている。

古墳時代の資料として、埼玉県野原古墳群の発掘調査資料を展示している。耳飾、直刀、鉄鏃、須恵器など。

ほかに、弥生時代の伝福岡県須玖出土の銅戈、昭和の初頭の寄贈品の鏡（位至三公鏡）などが展示されている。

##### ③古代窯跡発掘の須恵器・瓦埴・硯・瓦塔

1958年～1980年にかけて立正大学考古学研究室が、文部省の科学研究費の交付などを受けて実施した「古代窯業の考古学的研究」によって発掘された資料である。

青森県に存在する北限の五所川原〔前田野目〕遺跡、出羽（山形県）の荒沢・町沢田遺跡、上

野（群馬県）の金山瓦窯跡・上小友窯跡、信濃（長野県）の宮洞・若宮・御牧ノ上・八重原窯跡、武蔵（埼玉県）の亀ノ原・新沼・山田・宮ノ前・虫草山・東金子などの窯跡、備後（広島県）の青水窯跡、筑前（福岡県）の平田窯跡などからの出土品で、いずれも古代生産の実態、土器の編年、瓦塼の供給問題についての貴重な資料として知られている。



新久窯跡出土の土器

#### ④古代～近世

古代～近世にかけての資料。

古代では、千葉県九十九坊廃寺・同長熊廃寺跡の出土品がある。とくに、長熊廃寺跡は、本学が1951年から'53年にかけて発掘した遺跡として知られている。土師器の火葬骨蔵器は、主として神奈川県下の出土品。

中世では、板碑・骨蔵器、近世では、東京都増上寺徳川将軍家関係墳墓出土の一字一石経などが展示されている。

#### ⑤熊谷キャンパス内出土資料

熊谷キャンパスにおける施設の新築などに際して、法（文化財保護法）によって定められた遺跡の発掘調査を実施しているが、その折、貴重な資料が出土している。

とくに旧石器時代後期の石器群、縄文時代早期の土器群の出土は、埼玉県内の旧石器文化の様相、土器文化の起源を探るうえできわめて貴



熊谷校地内遺跡出土の石器

重な資料として注目されている。また、古墳時代後期～平安時代にかけての集落跡、江戸時代の遺跡も発掘され、教育の場、研究資料としても活用されている。

調査を担当している立正大学熊谷校地遺跡調査室は、他大学に先がけて設置された調査機関であり、国立・私立大学の先駆的事例として諸大学の参考となっている。

#### —第2展示室—

#### ⑥樺太出土資料

久保常晴氏（元本学名誉教授）寄贈の樺太出土資料（土器・石器・骨角器）は、同氏が1930年代に樺太の地を調査した際に発掘されたものである。

樺太出土の資料は、現在、日本各地に所蔵されているが、その一つとして立正大学所蔵品の存在が知られている。



熊谷校地内遺跡R地点出土の土器

### ⑦吉田 格コレクション

吉田 格氏（立正大学専門部地歴科・昭和16（1941）年卒）寄贈のコレクションである。吉田氏は縄文時代研究の学者として著名であり、とくに縄文時代早期の花輪台式、後期の称名寺式は氏によって設定された型式標準資料として学界に周知されている。

関東地方でもっとも早く発掘された旧石器時代後期の遺跡（熊ノ郷・殿ヶ谷戸・西之台Bなど）、縄文時代各時期の遺跡群からの出土資料、とくに早期の花輪台式・子母口式、後期の称名寺式・堀之内式、後～晩期の安行各式土器は、多数の土製耳飾りおよび諸貝塚出土の骨角製品とともに広く知られている。とくに称名寺貝塚出土の土器・石器・骨角器および骨角器原材（鹿角）は縄文時代の研究上、きわめて重要な資料である。

本草学者・伊藤圭介（日本最初の理学博士）蒐集の石器は『日本産物誌』（明治9（1876）年）に収められているものであり、嘉永5（1852）年の箱書きを持つ収蔵箱に収められている石器とともに、きわめて貴重な資料として吉田コレクションに収められている。



称名寺A貝塚出土の土器

### ⑧ネパール・ティラウラコット出土資料群

1967年～1977年にかけて、立正大学がネパール王国に派遣した発掘調査団によって発掘された資料であり、とくに日ネ親善のためネパール考古局より寄贈された資料である。

ティラウラコット遺跡は、釈尊出家の故城ーカピラ城跡の有力な比定遺跡として世界の学界に知られていた。その地を10年間にわたって発掘調査した結果、カピラ城跡の最有力遺跡として注目されるにいたっている。

東西約400m、南北約480mの方形の城跡内に7つの遺丘が存在し、その中の2つを発掘して得られた資料である。



ティラウラコット遺跡出土の土器 1



ティラウラコット遺跡出土の土器 2

## 2. 企画展

### 第1回 企画展

「写真で見る日本古代木造塔の心礎－岩井隆次氏寄贈写真による－」

◆期間：平成15年7月7日（月）～8月4日（月）

◆展示解説日：7月7日（月）13時～14時  
7月26日（土）10時～11時  
13時～14時

◆昭和57（1982）年6月に、岩井隆次氏は『日本の木造塔跡』を刊行され、その後、それまで収集された全国の塔心礎の写真を立正大学考古学研究室に寄贈して頂いた。約20年が経過し、カラー色の退色など、劣化が見られたため第1回企画展として、岩井氏の写真をパソコンで修正し展示するとともに、岩井氏の心礎研究について紹介した。

## 3. 特別展

### 第1回 特別展

「立正大学が発掘した埼玉の古代窯跡」

◆期間：平成15年10月16日（木）～11月15日（土）

◆記念講演会・パネルディスカッション  
10月18日（土）

◆第1回特別展として、立正大学考古学研究室が昭和30年度前半から昭和50年度の中ごろにかけて、文部省科学研究費などの交付を受けて実施した「古代窯業の考古学的研究」の“埼玉県の事例”の一端を紹介した。

## （6）講演会 等

第1回特別展の開催に伴い、記念講演会およびパネルディスカッションを下記の通り実施した。

期日：平成15年10月18日（土）

会場：立正大学熊谷校舎 1号館 1102教室

時間：13:30～15:30

### パネルディスカッション

「埼玉県における古代窯跡調査の回顧と現状」

柳田 敏司・渡辺 一（鳩山町教育委員会）・

坂詰 秀一

[司会] 上野 恵司（立正大学博物館）

### 演題

①「立正大学が発掘した埼玉の古代窯跡」

坂詰 秀一（立正大学博物館館長）

②「埼玉県における立正大学古代窯跡調査の意味」

柳田 敏司（埼玉県文化財保護審議会会長）



パネルディスカッションの光景

## (7) 収集 保存

本年度は、眞鍋孝志氏（日本古鐘研究会会長）から下記の梵音具、仏像、手紙、本などが寄贈された。

### ◆遺物

- ・古代鈴（日本）・甬鐘（中国）・仏立像（スリランカ）・仏断片B.C.1～2（インド）・巡礼者使用金剛鈴（チベット）・仏像（カンボジア）・仏像A.D.13C（カンボジア）

### ◆手紙

- ・原稿「歴史考古学の研究目次」
- ・原稿「梵鐘と考古学」平成元年7月
- ・坪井良平氏から13通
- ・坪井清足氏から4通
- ・大林太良「復刻版まえがき」『未開民族の文化』原稿

### ◆写真

- ・池上本門寺鐘・九州の朝鮮鐘・福岡県博梵鐘展にて（朝鮮鐘）

### ◆テープ

- ・坪井良平先生「紫綬褒賞記念パーティー」講演テープ

### ◆寄贈本

- ・『天城湯ヶ島町の文化財』1993年3月
- ・『今蘇る久遠のひゞき』東川院梵鐘帰院記念 2002年6月
- ・『栄山寺鐘銘詳解』1898年
- ・『江戸近郊の鋳物師－谷保村関鋳物師の業績』2000年2月
- ・『織田こころの里わぎの里』2001年10月
- ・『史跡と美術』第502号 1980年2月
- ・『写真集 首里城』1992年11月
- ・『鐘の戸籍（一）－梵鐘行脚－』付表 全国都道府県別主要鐘一覧 1975年3月
- ・『鐘の戸籍（二）－梵鐘行脚－』付表 京都府・滋賀県現存鐘年表 1981年3月
- ・『鎌倉・禅の源流』2003年6月

- ・国宝指定記念『瑞龍寺展』1998年4月
- ・『熊谷幸次郎先生手拓 日本古鐘銘拓本目録』1994年3月
- ・『芸術新潮』第46巻第11号 1995年11月
- ・『芸術新潮』第53巻第2号 2002年2月
- ・『粉河鋳物－粉河町に分布する作品－』2003年12月
- ・『国寶 川越大師』1990年
- ・『湖国と文化』82号冬 1998年1月
- ・『五輪塔の研究』平成4年度調査概要報告 1993年3月
- ・『五輪塔の研究』平成6年度調査概要報告 1995年3月
- ・『真言・梵字の基礎知識』1993年6月
- ・『大鐘寺古鐘博物館建館二十周年記念文集』2001年4月
- ・『高岡金屋とその周辺金屋－その足跡をたどる－』2001年4月
- ・『武田氏と御岳の鐘』1996年10月
- ・『中国楽器志・体鳴巻』2003年7月
- ・『東洋陶磁名品図録』1991年11月
- ・『常宮神社小誌』1986年9月
- ・『南山城村史資料編 宗教石造遺品』2002年9月
- ・『東と西の考古学』2000年4月
- ・『響きわたれ平和の梵鐘 終戦50回忌平和の梵鐘鋳造・全戦争犠牲者追悼記念誌』1995年2月
- ・平成15年秋季特別展『坪井良平～梵鐘研究に捧げた生涯』2003年11月
- ・『房総の史跡散歩』1987年4月
- ・『梵鐘の音は時を越えて～河内鋳物師の世界～』2003年3月
- ・『有訓無訓』1988年1月
- ・『林松院文庫目録』2000年3月

## (8) 調査 研究

### ＜視察報告＞

#### 韓国の古鐘

韓国の梵鐘は、朝鮮鐘あるいは韓国鐘と呼ばれる。日本の梵鐘と最も異なる部分は龍頭であり、日本は双頭、韓国は単頭で甬と呼ばれる筒が笠形の上に一緒に認められる。また、袈裟襷は認められず、鐘身部分には飛天などの装飾が施される場合が多い。乳は、凹状の乳郭内に付され、乳郭と上下帯の部分には、唐草文など装飾が施される場合が多い。

今回の視察は、日本の梵鐘と韓国の梵鐘を比較し、時期ごとに両者にどのような影響が見られるかを検討することを目的とし、最初に朝鮮鐘の変遷を考えるため、紀年銘が認められる鐘を中心に見学した。

最初は、現在最も古い新羅聖徳王24 (725) 年の銘を有する朝鮮鐘が認められる上院寺を訪れた。この寺は、北朝鮮との国境に近い五台山国立公園内に位置し、最も近い襄陽空港からはタクシーで2時間ほどかかる山の中にあった。鐘は、本堂の前の小さい建物の中に懸かっており、現在は使用されておらず大事に保管してあった。

口径は約0.9m、総高約1.67mと大形のものの、乳郭、上・下帯には装飾が施されており、飛天、撞座、龍頭も装飾が丁寧であった。

次にソウルの国立中央博物館で、統和28 (1010) 年の銘を有する天興寺鐘と清寧4 (1058) 年銘を有する高麗鐘を中心に観察した。国立中央博物館は、かつては朝鮮総督府を利用した博物館であったが、現在は移転中であり、鐘は隣接した建物の中に展示してあった。

天興寺鐘は、口径約0.95m、総高約1.67mと大きさは上院寺鐘とほぼ同じであり、各部分の装飾も丁寧に施されており似ているが、飛天と撞座が上院寺鐘と比べやや乳郭から離れた部分

に認められた。

また、清寧4 (1058) 年銘・高麗鐘は、口径約0.55m、総高約0.87mと天興寺鐘と比較すると小形になっている。先の2つの鐘と比較すると撞座と飛天の位置が異なる。最も大きく相違する部分は笠形周縁に立状帯が認められることである。

その後、扶餘と公州の国立博物館に向かった。公州の博物館は、武寧王陵関係の特別展示が開催されており、鐘を見学することはできなかったが、扶餘では国立博物館が従来とは別な場所に新築されており、ここでは高宗25 (1238) 年銘を有する高興出土、戊戌銘・高麗鐘を見学できた。この鐘は、口径約0.31m、総高約0.45mと清寧4年銘・高麗鐘よりさらに小形化している。乳郭も凹状から円形に代わり、笠形周縁の立状帯は高さを増している。乳郭の変化は、新羅鐘から続いた伝統に、この時期新たな動きが感じられる。

ここから、大蔵経で著名な海印寺に向かい、新しくできた宝物館である聖寶博物館で、成宗22 (1491) 年銘のある大寂光殿鐘などを見学した。この鐘は、口径約0.57m、総高約0.85mと大きさは清寧4 (1058) 年銘・高麗鐘と近いものの、その形態は、龍頭は双頭であり、四角の乳郭は認められるものの、鐘身部分一面に、多くの文様が施され、口縁部付近には八卦文がみられる。これは、明らかに中国鐘の影響であり、該期の中国鐘との関係が注目される。

最後に訪れた慶州の国立博物館は、多くの鐘を所蔵しているが、特に有名なのは国宝でもある新羅、恵恭王7 (771) 年の銘を有する聖徳大王神鐘 (別名エミレの鐘) である。この鐘は口径約2.23m、総高約3.66mと大きく、新羅聖徳王24 (725) 年の銘を有する上院寺鐘と同様に飛天、上・下帯、乳郭、撞座などに丁寧な装飾が施されている。

この鐘は、現在博物館の入り口前に懸けられており、本来は直接鐘には近づけないが、入り口に本学大学院の博士後期課程で共に学んだ朴洪國博士（現在威徳大學博物館教授）が待っていて下さり、細部まで調査することができた。また、博士のご紹介で博物館にある他の著名な朝鮮鐘についても、詳しく説明を受けた。この博物館からは、最近韓国内の鐘についてまとめた『聖徳大王神鐘』という2分冊の大著が1999年に出版されている。

その後、朴博士には寺院では国内最大級の博物館を有する通度寺までご紹介していただき、館長・学芸員の方をご紹介いただいた。博物館では、10月から鐘の特別展を開催するというので、その資料についても説明も受けた。



上院寺・新羅聖徳王24 (725) 年銘鐘

朝鮮鐘については、日本の梵鐘研究の第一人者である坪井良平先生が「朝鮮鐘の数字的研究」（金截元博士回甲記念論叢 昭和44年）の中で大筋の変遷過程を明らかにされているが、今回の視察の結果も同様の傾向が窺えた。しかし、笠形上の単頭と甬の系譜問題、笠形周縁に付く立状帯の出現問題、時期が下るにつれて認められる鐘の小形化傾向の理由、中国鐘との関係など多くの課題が残っている。今後は、日本・中国・韓国の鐘を比較研究することで、この問題に取り組みたいと思う。

本視察は平成15年8月31日から9月8日まで、仏教考古学研究奨励基金委員会（坂詰秀一委員長）から、梵鐘の比較研究と博物館の視察を兼ねて韓国へ派遣していただいた成果の一部であることを付記する。（上野恵司）



聖徳大王神鐘（エミレの鐘）・  
新羅恵恭王7 (771) 年銘

## (9) 教育 普及

平成15年8月5日(火) から11日(月) の7日間、博物館で館務実習を行った。

### (実習内容)

8月5日(火)

- ・ 午前の部
  - 館長挨拶
  - 館務実習の説明
- ・ 午後の部
  - 館の概要説明
  - 館内施設の見学
  - 企画展の片付け

8月6日(水)

- ・ 午前の部
  - 講話「博物館学芸員とは」  
(講師 栗原文蔵講師)

- ・ 午後の部
  - 写真撮影について

8月7日(木)

- ・ 午前の部
  - 展示パネルの作成 (1)
  - 解説文の作成
- ・ 午後の部
  - 展示パネルの作成 (2)
  - パネルの作成

8月8日(金)

- ・ 午前の部
  - 考古学資料の取り扱い (1)
  - 拓本
- ・ 午後の部
  - 考古学資料の取り扱い (2)
  - 接合・復元

8月9日(土)

- ・ 午前の部
  - 資料整理 (1)
  - 収蔵資料の搬入

- ・ 午後の部
  - 資料整理 (2)
  - 収蔵資料の分類

8月10日(日)

- ・ 午前の部
  - 資料整理 (1)
  - 資料カードの作成

- ・ 午後の部
  - 討論会
  - 博物館実習に参加して

8月11日(月)

- ・ 午前の部
  - 自然史関係実習 (1)
  - 地球環境科学部内施設見学  
(講師 島津 弘助教授)
- ・ 午後の部
  - 自然史関係実習 (2)
  - 「写真判読法」(地形分類図・土地利用図)  
(講師 島津 弘助教授)
- ・ 終了式



実習参加者

### (10) 資料活用

当博物館所蔵のネパール・ティラウラコット遺跡出土資料が、平成15年9月14日(日)午後

11時30分より、TBSテレビ『世界遺産』「仏陀の生誕地ルンビニー」で放映されました。

## III. 日誌(抄)

—平成15年—

<4月>

・1日(火)

本日は、通常閉館日であるが大学入学式のため臨時開館日とした。坂詰館長・上野専門委員・田村総務部嘱託他学生アルバイト出勤。今後の開館日程について打ち合わせ。

熊谷市商工会議所・立正大学橘父兄会・立正大学同窓会ほか学園教職員・篠原盛雄氏(伊達市)他一般人・新入生、来館者数計96名

・2日(水)

新入生8名

・3日(木)

一般4名(東京都大田区)

・4日(金)

平成15年度 第1回博物館運営委員会 熊谷キャンパス第2会議室 午後3時より開催。

一般8名(群馬県太田市他)・学生15名

・7日(月)

学生2名

・9日(水)

真鍋孝志(日本古鐘研究会会長)・一般1名

・学生12名

・10日(木)

一般2名(北本市・草加市)・学生5名

・11日(金)

一般1名(加須市)・学生13名

・14日(月)

学生23名

・16日(水)

山本三郎、深谷忍、上村睦(埼玉県北部創造センター)・一般1名・学生2名

・17日(木)

一般1名(国学院大学院生)・学生10名

・18日(金)

一般1名(桶川市)・学生16名

・21日(月)

学生10名

・23日(水)

学生7名

・24日(木)

学生4名

・25日(金)

一般1名(群馬県)・学生2名

・28日(月)

一般1名(横浜市)・学生2名

<5月>

・7日(水)

一般1名(札幌市)・学生33名・日本機関紙協会埼玉県本部1名

・8日(木)

一般3名(国分寺市・千葉市他)

・9日(金)

一般1名(群馬県)・学生3名

・12日(月)

開館

・14日(水)

学生3名

・15日(木)

- 一般 1 名 (久喜市)
  - ・ 16 日 (金)
    - 一般 3 名 (桶川市) ・ 学生 5 名
  - ・ 17 日 (土)
    - 開館日 特別展用資料整理
  - ・ 18 日 (日)
    - 特別展用資料整理
  - ・ 19 日 (月)
    - 一般 1 名 (つくば市)
  - ・ 20 日 (火)
    - 臨時開館 本庄第 1 高校 (生徒 30 名、教員 2 名) 来館
  - ・ 21 日 (水)
    - 一般 1 名 (清瀬市) ・ 教員 1 名 ・ 学生 3 名
  - ・ 22 日 (木)
    - 学生 6 名
  - ・ 23 日 (金)
    - 学生 2 名
  - ・ 26 日 (月)
    - 一般 1 名 (深谷市) ・ 学生 1 名
  - ・ 28 日 (水)
    - 一般 4 名 (小金井市 ・ 渋谷区 ・ 千葉市他)
  - ・ 29 日 (木)
    - 開館日
  - ・ 30 日 (金)
    - 一般 1 名 (本庄市) ・ 吉川講師受講生 89 名 ・ 学生 6 名
- < 6 月 >
- ・ 1 日 (日)
    - 埼玉考古学会総会 ・ 見学会会場のため臨時開館考古学会員 23 名 ・ 一般 1 名 (熊谷市)
  - ・ 2 日 (月)
    - 一般 1 名 (安中市) ・ 学生 2 名
  - ・ 4 日 (水)
    - サザンメイン大学交換留学生 4 名 ・ 引率 3 名 ・ 学生 4 名
  - ・ 5 日 (木)
    - 立正高校父母 42 名、教員 2 名 ・ 学生 3 名
  - ・ 6 日 (金)
    - 学生 2 名
  - ・ 9 日 (月)
    - 一般 1 名 (江南町)
  - ・ 11 日 (水)
    - 開館日
  - ・ 12 日 (木)
    - 開館日
  - ・ 13 日 (金)
    - 一般 2 名 (川越市 ・ 桶川市)
  - ・ 16 日 (月)
    - 一般 2 名 (坂戸市)
  - ・ 18 日 (水)
    - 一般 8 名 ・ 学生 2 名
  - ・ 19 日 (木)
    - 大学見学 (大宮武蔵野高校父母 23 名、引率 4 名) ・ 一般 1 名
  - ・ 20 日 (金)
    - 一般 2 名 (埼玉女子短大講師 ・ 桶川市)
  - ・ 21 日 (土)
    - 長野県考古学会 13 名 ・ 学生 7 名 ・ 受験生 2 名
  - ・ 22 日 (日)
    - 橘父兄会地方懇談会熊谷会場 特別開館  
橘父兄会関係者 130 名 ・ 一般 12 名 (熊谷市他)
  - ・ 23 日 (月)
    - 開館日
  - ・ 25 日 (水)
    - 開館日
  - ・ 26 日 (木)
    - 学生 4 名
  - ・ 27 日 (金)
    - 一般 2 名 (我孫子市 ・ 国分寺市)
  - ・ 28 日 (土)
    - 開館日 特別展準備
  - ・ 30 日 (月)

開館日 特別展準備

< 7 月 >

- ・ 2 日 (水)  
田中英夫ゼミ生10名・一般 1 名
- ・ 3 日 (木)  
学生 1 名 特別展準備
- ・ 4 日 (金)  
学生 3 名 特別展準備
- ・ 5 日 (土)  
一般 8 名 (志木市・朝霞市・深谷市・富士見市)・特別展準備
- ・ 7 日 (月)  
第 1 回企画展 「写真で見る日本古代木造塔の心礎」一岩井隆次氏寄贈写真による一 本日より開催  
一般 1 名
- ・ 1 日 (水)  
一般 3 名 (豊島区・深谷市・寄居町)・学生 7 名
- ・ 10 日 (木)  
開館日
- ・ 11 日 (金)  
一般 2 名 (大田区・桶川市)・学生 1 名
- ・ 12 日 (土)  
一般 1 名 (板橋区)
- ・ 14 日 (月)  
一般 1 名・学生 5 名
- ・ 16 日 (水)  
一般 2 名 (株モチギ)
- ・ 17 日 (木)  
立正高校生 7 名・一般 3 名 (宇都宮市・蓮田市・富士見市)・学生 5 名
- ・ 18 日 (金)  
一般 2 名 (熊谷市)・学生 1 名
- ・ 19 日 (土)  
一般 5 名 (岩井隆次氏 関係者)・学生 3 名

- ・ 23 日 (水)  
一般 1 名 (新潟県)・学生 1 名
- ・ 24 日 (木)  
学生 7 名
- ・ 25 日 (金)  
開館日
- ・ 26 日 (土)  
一般 5 名 (上尾市・所沢市他)・学生 1 名
- ・ 28 日 (月)  
一般 2 名 (桶川市・行田市)・学生 1 名
- ・ 30 日 (水)  
一般 2 名 (嵐山町歴史資料館)・学生 2 名
- ・ 31 日 (木)  
入試オープンキャンパス  
約 400 名・一般 10 名 (東松山市他)

< 8 月 >

- ・ 1 日 (金)  
一般 3 名 (徳島市)・学生 2 名
- ・ 2 日 (土)  
一般 11 名 (小川町・深谷市・東京都・藤沢市)
- ・ 4 日 (月)  
教員 2 名
- ・ 5 日 (火)  
博物館実習第 1 日目  
実習参加者 23 名・一般 1 名 (品川歴史館)・学生 1 名
- ・ 6 日 (水)  
同 2 日目 講演 栗原文蔵氏
- ・ 7 日 (木)  
同 3 日目 展示パネル実習
- ・ 8 日 (金)  
同 4 日目 考古学資料の取り扱い
- ・ 9 日 (土)  
同 5 日目 台風のため午前中にて解散
- ・ 10 日 (日)  
同 6 日目 討論会 14:30 ~

- ・ 11日 (月)  
7日目 自然史関係実習 島津 弘助教授  
閉会式
- ・ 26日 (火)  
特別開館 一般 1 名・学生 1 名

< 9 月 >

- ・ 8日 (月)  
特別開館 一般 1 名 (熊谷市)
- ・ 20日 (土)  
特別開館 入試オープンキャンパス  
約300名
- ・ 22日 (月)  
一般 3 名 (広島市・川越市)・学生 4 名
- ・ 24日 (水)  
開館日
- ・ 25日 (木)  
開館日
- ・ 26日 (金)  
学生 4 名

< 10 月 >

- ・ 1日 (水)  
一般 3 名 (東京都・富山県)・学生 1 名
- ・ 2日 (木)  
一般 2 名 (上尾市)
- ・ 3日 (金)  
開館日
- ・ 4日 (土)  
一般 4 名 (熊谷市・羽生市)・古河第 3 高校  
父母22名・学生 3 名
- ・ 6日 (月)  
開館日
- ・ 8日 (水)  
学生 1 名
- ・ 9日 (木)  
開館日

- ・ 10日 (金)  
学生 2 名
- ・ 11日 (土)  
開館日
- ・ 14日 (火)  
熊谷市役所・商工会議所訪問 (特別展ポスター  
展示依頼)
- ・ 15日 (水)  
一般 2 名 (東松山市)・学生 6 名
- ・ 16日 (木)  
一般 1 名 (国分寺市)・学生 4 名
- ・ 17日 (金)  
学生 2 名
- ・ 18日 (土)  
第 1 回特別展記念講演会及びパネルディスカッ  
ション開催  
一般27名 (北大大学院・高崎東高校・練馬区)・  
学生多数
- ・ 20日 (月)  
学生 2 名
- ・ 22日 (水)  
学生 4 名
- ・ 23日 (木)  
一般 1 名 (国分寺市)・学生 2 名
- ・ 24日 (金)  
学生 5 名
- ・ 25日 (土)  
一般 3 名・学生 3 名・伊奈学園高校保護者20  
名
- ・ 27日 (月)  
一般 1 名
- ・ 29日 (水)  
一般 1 名 (練馬区)・学生 1 名
- ・ 30日 (木)  
一般 1 名 (清瀬市)
- ・ 31日 (金)  
一般 2 名 (東松山市)

<11月>

- ・ 1 日 (土)  
一般 6 名 (小平市・北本市他)・学生 1 名
- ・ 3 日 (月)  
一般 77 名 (静岡市他)・学生 1 名・入試オープンキャンパス 150 名
- ・ 6 日 (木)  
一般 8 名 (伊勢崎東高校・鶴ヶ島市)
- ・ 7 日 (金)  
一般 5 名 (駒沢大学考古研・大成工業(株)他)
- ・ 8 日 (土)  
一般 2 名 (さいたま市他)
- ・ 10 日 (月)  
埼玉県教育委員会実地調査 (博物館相当施設申請に伴う施設見学)
- ・ 12 日 (水)  
一般 3 名 (熊谷市他)・学生 6 名
- ・ 13 日 (木)  
一般 1 名 (深谷市)・学生 1 名・桐生南高校 10 名
- ・ 14 日 (金)  
一般 1 名 (昭島市)・学生 2 名
- ・ 15 日 (土)  
一般 2 名 (富士見市・東京都)・学生 1 名
- ・ 17 日 (月)  
一般 1 名 (熊谷市)・学生 81 名
- ・ 19 日 (水)  
一般 1 名 (行田市)・行田進修館高校生徒 42 名・学生 1 名
- ・ 20 日 (木)  
一般 2 名 (多摩市・大和郡)・学生 4 名
- ・ 21 日 (金)  
一般 28 名 (本庄第 1 高校生・引率教員)・学生 1 名
- ・ 22 日 (土)  
開館日
- ・ 26 日 (水)

学生 4 名

- ・ 27 日 (木)  
開館日
- ・ 28 日 (金)  
開館日
- ・ 29 日 (土)  
開館日

<12月>

- ・ 1 日 (月)  
学生 2 名
- ・ 3 日 (水)  
学生 4 名
- ・ 4 日 (木)  
開館日
- ・ 5 日 (金)  
一般 2 名・学生 1 名
- ・ 6 日 (土)  
開館日
- ・ 8 日 (月)  
一般 1 名
- ・ 10 日 (水)  
一般 1 名
- ・ 11 日 (木)  
学生 1 名
- ・ 12 日 (金)  
一般 2 名
- ・ 13 日 (土)  
一般 1 名
- ・ 15 日 (月)  
一般 3 名・学生 30 名 (則武助教授ゼミ生)
- ・ 16 日 (火)  
特別開館 一般 73 名 (彩の国いきがいの大学熊谷学園一行 70 名他)
- ・ 17 日 (水)  
一般 2 名 (高校生)・学生 3 名
- ・ 18 日 (木)

一般1名(水戸市)

・19日(金)

学生1名

・20日(土)

一般1名(同窓生)

・22日(月)

学生1名

・25日(木)

開館日

—平成16年—

<1月>

・14日(水)

学生5名

・16日(金)

一般4名(東京都・入間市他)・上尾橘高校生16名、引率教員2名

・19日(月)

開館日

・21日(水)

一般1名・学生2名

・22日(木)

開館日

・23日(金)

学生1名

・24日(土)

一般1名(卒業生)

・26日(月)

学生1名

・28日(水)

一般1名(東北歴史博物館学芸員)・学生1名

・29日(木)

平成16年度予算概算要求書事情説明

・30日(金)

学生2名

・31日(土)

一般2名(諏訪市)

<2月>

・2日(月)

一般1名(桶川市)

・4日(水)

入学試験中のため閉館

・5日(木)

入学試験中のため閉館

・6日(金)

一般1名(鶴瀬市)

・9日(月)

開館日

・12日(木)

一般42名(埼玉県白岡高校生40名、教員2名)・学生1名

・13日(金)

一般34名(埼玉県妻沼高校生29名、教員3名・深谷市他)

・16日(月)

一般1名(群馬県歴史博物館学芸員)

・18日(水)

開館日

・19日(木)

一般1名(長野市)

・20日(金)

一般1名(青森市)

・23日(月)

学生3名

・25日(水)

開館日

・26日(木)

一般1名(加須市)

・27日(金)

開館日

・28日(土)

学生1名

< 3月 >

- ・ 1日(月)  
一般1名(熊谷市)
- ・ 3日(水)  
大学入学試験につき閉館
- ・ 4日(木)  
大学入学試験につき閉館
- ・ 5日(金)  
開館日
- ・ 8日(月)  
開館日
- ・ 10日(水)  
一般1名(さいたま市)
- ・ 11日(木)  
一般3名(本庄市・東松山市)
- ・ 12日(金)  
学生1名
- ・ 15日(月)  
一般3名(神奈川・下仁田町・熊谷市)

- ・ 17日(水)  
春期休暇の為3月31日まで休館日とする。
- ・ 18日(木)  
入試部情報誌「アーチ」掲載用写真撮影  
特別見学一般1名  
第2回企画展「南極、自然と人」－南極観測  
の記録から－ 資料収集等準備
- ・ 19日(金) 資料収集等準備
- ・ 22日(月) 資料収集等準備
- ・ 24日(水) 資料収集等準備
- ・ 25日(木) 資料収集等準備
- ・ 26日(金) 資料収集等準備  
博物館に相当する施設の申請書類を埼玉県教育委員会に提出
- ・ 29日(月) 資料収集等準備
- ・ 30日(火) 埼玉県教育委員会より、博物館に  
相当する施設に指定される。
- ・ 31日(水) 資料収集等準備  
第2回企画展ポスター発送256件  
一般1名(太田市)

#### IV. 寄贈図書目録 (2003. 4～2004. 3)

##### <宮城県>

###### 東北大学史料館

- ・東北大学記念資料室だより No.1, 2
- ・東北大学史料室だより No.1, 2, 3
- ・東北大学史料館
- ・仙台医学専門学校資料目録－東北大学記念資料室資料目録1－
- ・明治十四年度以降「寄附関係書類」収蔵目録－東北大学記念資料室資料目録2－
- ・東北大学史料館所蔵東北大学関係写真目録

##### <福島県>

###### 福島県文化財センター白河館

- ・研究紀要 2002
- ・まほろん通信 VOL. 7～10

##### <茨城県>

###### 茨城県立歴史館

- ・茨城県立歴史館だより No.88

##### <栃木県>

###### 佐野市郷土博物館

- ・佐野市郷土博物館年報 昭和61年度～平成13年度

###### 栃木県教育委員会

- ・第17回企画展 律令国家の誕生と下野国

##### <群馬県>

###### 群馬県立歴史博物館

- ・群馬県立歴史博物館要覧

##### <埼玉県>

###### 朝霞市博物館

- ・朝霞市博物館研究紀要 第6号
- ・第12回企画展 朝霞と鉄道

###### 朝霞市博物館調査報告書

###### 第3集 中世資料集成1 板碑編

- ・博物館をつかってみよう 朝霞市博物館利用の手引き

###### 入間市博物館

- ・アリット・フェスタ2003 特別展  
からだ万華鏡～人間像の多彩な表現～

###### 入間市博物館ALIT

- ・入間市博物館活用事例集 VOL. VIII
- ・入間川足跡発掘調査団編  
人間昔むかしアケボノゾウの足跡 改訂版
- ・入間市博物館紀要 第3号

###### 岩槻市教育委員会

- ・平成14年度岩槻市内遺跡発掘調査報告書  
真福寺貝塚F地点試掘調査の概要
- ・岩槻市文化財調査報告書  
第24集 史跡隣接地B地点の調査  
史跡真福寺貝塚調査報告書

- ・太田貝塚第3・4地点発掘調査報告書

###### 浦和くらしの博物館民家園

- ・民俗資料収集目録5 (平成9～13年度)
- ・みんかえんだより 第24号

###### 大井町立郷土資料館

- 大井町立郷土資料館収蔵資料目録
- ・大井小学校PTA文書目録

###### 神川村教育委員会

- ・神川村遺跡群発掘調査報告 I～VII
- ・中道遺跡－第2・3地点の発掘調査－

###### 神川村遺跡調査会

- ・皂樹原遺跡・檜下遺跡試掘報告

###### 神川町教育委員会

- 神川町教育委員会文化財調査報告
- ・第13集 青柳古墳群四軒在家支群
- ・第16集 青柳古墳群城戸野・海老ヶ久保・十二谷戸・二ノ宮支群

- ・第17集 中道遺跡第15・21・23・25地点 中北原遺跡第2・4地点 北下原遺跡
- ・第18集 中原・金屎・久保宿・観音院南・光権寺・北原遺跡・大蔵塚
- ・第19集 中道遺跡第16・17地点 中北原遺跡第3地点 保木野墳遺跡 反り町遺跡第1地点
- ・第20集 中道遺跡  
神川町遺跡調査会発掘調査報告書
- ・第1集 中道遺跡第14地点
- ・第2集 池田遺跡第1地点
- ・第3集 中道遺跡第18地点
- ・第4集 ニノ宮19号墳
- ・第5集 安保氏館跡
- ・第6集 青柳古墳群関口支群
- ・第10集 青柳古墳群南塚原支群 I
- ・第11集 庚申塚・愛染遺跡・安保氏館跡・諏訪ノ木古墳
- ・第12集 真下境西・反り町・八荒神北・八荒神南遺跡
- ・第14集 青柳古墳群南塚原遺跡群 II
- ・第15集 中道遺跡第22地点

#### 川越市立博物館

- ・南田島自治会保管文書目録・連雀町自治会保管文書目録
- ・博物館だより 第37・38号
- ・第21回企画展 はにわは語る

#### 皂樹原・檜下遺跡調査会

- ・皂樹原・檜下遺跡 発掘調査概報 I・II
- ・皂樹原・檜下遺跡調査会報告書
- ・第2集 皂樹原・檜下遺跡II 奈良・平安時代編 1
- ・第3集 皂樹原・檜下遺跡III 奈良・平安時代編 2
- ・第4集 皂樹原・檜下遺跡IV 奈良・平安時代編 3

#### 熊谷市立図書館

- ・私たちの郷土・熊谷の歴史(改帳版)
- ・熊谷次郎直実法力房蓮生法師の研究
- ・～さくら・サクラ・描かれた桜田絵～  
桜の絵画展

#### くまがや古文書・学習研究会

- ・くまがや古文書選

#### 江南町教育委員会

- ・千代遺跡群発掘調査報告書

#### 江南町千代遺跡群発掘調査会

- ・千代遺跡群発掘調査報告書 2 弥生・古墳時代編

#### 児玉郡市文化財担当者会

- ・児玉郡市文化財担当者会報 第1号

#### 埼玉県立自然史博物館

- ・自然史だより 第49～50号

- ・自然史百科 81

- ・自然史百科 82

- ・自然史百科 83

- ・自然史百科 84

- ・埼玉県立自然史博物館収蔵資料目録 第16集

埼玉県立上尾高等学校生物部採集昆虫標本

#### 埼玉県立博物館

- ・埼玉県立博物館要覧

- ・新収蔵品展・展示資料一覧

- ・太平記絵巻

- ・THE MUSEUM 111～113号

- ・特別展 平林寺

- ・特別展埼玉の名宝シリーズ4 めざめろ古代ー新指定の考古資料ー

- ・埼玉県立博物館紀要 第29号

- ・太平記絵巻 第6巻

- ・博物館の広場 埼玉の古墳ー古墳から見つかるものー

- ・平成15年度 博物館要覧(第29号)

- ・江戸をささえる I 中山道と日光道

#### 埼玉県立歴史資料館

- ・菅谷館跡

・資料館ガイドブック11 埼玉の瓦塔

・研究紀要 第4～14・16・18・25号

#### 埼玉考古学会

・埼玉考古 第19・20・22～25・28～31・33～  
37号・別冊第5号・討論「奈良時  
代前半の須恵器編年とその背景－  
前内出窯跡その後－」資料

#### 埼玉大学教養学部学務系

・埼玉大学大学院文化科学研究科博士後期課程  
教官紹介

#### 埼玉大学院・文化科学研究科

・埼玉大学大学院文化科学研究科(修士課程)  
概要  
・アジア・日本・そして地域文化の「今」を問  
い直す 社会人のための博士後期課程

#### さいたま文学館

・館報い 第6号  
・開館五周年記念特別展 近世埼玉の文人たち  
・テーマ展 文学VSマンガー表現のバリエアフリー  
へー  
・企画展 宮沢賢治と「アザリア」の友たち  
・さいたま文学館だより 通巻2号

#### 幸手市教育委員会

・幸手歴史物語川と道

#### 狭山市立博物館

・狭山市立博物館要覧 VOL.2  
・狭山市立博物館総合案内

#### 庄和町教育委員会

・庄和町文化財調査報告 第8集

#### 玉川村教育委員会

・文化財パンフレット No.3 玉川文化財散歩

#### 所沢航空発祥記念館

・所沢航空発祥記念館

#### 花園町教育委員会

花園町教育委員会文化財調査報告

・4 上南原下遺跡・下南原裏遺跡第3次調査  
・5 宮林原地遺跡

・6 大通寺内遺跡

#### 皆野町教育委員会

皆野町誌

・通史編

・資料編1 近世文書

・資料編2 中近世文書

・資料編3 中近世文書秩父事件資料

・資料編4 板碑・五輪塔・宝篋印塔

・資料編5 民俗

・自然編I 地質

・自然編II 植物

・自然編III 動物

#### 宮代町教育委員会

宮代町遺跡発掘調査報告書

・第10集 山崎南遺跡・道仏遺跡

・第11集 国納丸屋遺跡・中寺遺跡・伝承旗本  
服部氏屋敷跡遺跡

・第12集 東条原村岡安家文書

宮代町遺跡調査会報告書

・第2集 宿・源太山遺跡

#### 宮代町郷土博物館

・宮代町史 民俗編

#### 嵐山町教育委員会

嵐山町博物誌

・第1巻 RANZANアニマリア

・第4巻 丘陵人の叙事詩 [嵐山町の原始・古  
代]

・第5巻 戦い・祈り人々の暮らし [嵐山町の  
中世]

・第9巻 写真で綴る嵐山歳時記 [祭と年中行  
事]

嵐山町教育委員会

・嵐山町の文化財

・嵐山町博物誌調査報告 第1～8集

#### 和光市

和光市史

・通史編 上・下巻

- ・資料編 I・II・III
- ・民俗編  
和光市教育委員会
- ・和光市の遺跡出土品展
- ・和光市遺跡分布地図
- ・和光市ふるさと歴史散歩マップ  
和光市史編さん室
- ・和光市史 史料編別集 地福寺日並記  
蕨市立歴史民俗博物館
- ・第14回企画展 銃後の女性たち

#### <千葉県>

- 千葉県立房総風土記の丘
- ・歴史と自然をさぐる博物館
- ・千葉県立房総風土記の丘の概要

#### 松戸市立博物館

- ・松戸市立博物館

#### 睦沢町立歴史民俗資料館

- ・睦沢町立歴史民俗資料館

#### <東京都>

#### 国文学研究資料館史料館

- ・史料館報 No.78

#### 品川歴史館

- ・品川区立品川歴史館年報 2001
- ・品川区立品川歴史館特別展 資料リスト
- ・しながわの大名屋敷

#### 三鷹市教育委員会

#### 三鷹市埋蔵文化財調査報告

- ・第25集 島屋敷遺跡 II

#### 國學院大學

- ・考古学資料館案内
- ・考古学資料館要覧徳富蘇峰旧蔵資料 2001
- ・國學院大學博物館学紀要 第1～11・13・16  
～27輯
- 全国博物館講座協議会
- ・研究紀要 第4～7号

- ・全博協会報 32～39

- ・全国大学博物館学講座開講実態調査報告書第  
9回

#### 全日本博物館学会

- ・博物館学雑誌 第1～27巻

#### 駒澤大学禅文化歴史博物館

- ・禅の世界

#### 学習院大学

- ・学芸員

- ・Bulletin for Curator's Course No.5

#### 明治大学

- ・明治大学博物館研究報告 第7・8号

#### 明治大学博物館事務局

- ・明治大学博物館年報 2001年度

- ・明治大学博物館図書目録第5号 2001年度版

#### 明治大学刑事博物館

- ・「明治大学刑事博物館資料」 第17集

#### 明治大学商品博物館

- ・明治大学商品博物館50周年記念誌 商品陳列  
館の半世紀

#### <神奈川県>

#### かながわ考古学財団

- ・子ども考古学教室 体験考古学

#### 平塚市博物館

- ・あなたと博物館

#### <山梨県>

#### 山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター

- ・山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター  
要覧

#### <富山県>

#### 富山市教育委員会埋蔵文化財センター

- ・富山市教育委員会埋蔵文化財センター所報
- ・富山市の遺跡物語 第3・4号
- ・富山市四方北窪遺跡

- ・富山県富山市東老田Ⅱ遺跡
- ・富山市針原中町Ⅱ遺跡発掘調査概要
- ・富山市向野池遺跡
- ・境野新遺跡・向野池遺跡  
富山市埋蔵文化財調査報告
- ・107富山市千原崎遺跡発掘調査報告書
- ・109富山市関ヶ丘中山Ⅳ遺跡発掘調査報告書
- ・110富山市向野池遺跡発掘調査報告書
- ・111富山市茶屋町西山遺跡発掘調査報告書
- ・112富山市百塚住吉遺跡発掘調査報告書
- ・113富山市水橋金広・中馬場遺跡発掘調査報告書
- ・114富山市向野池遺跡発掘調査報告書
- ・115富山市水橋荒町・辻ヶ堂遺跡発掘調査報告書
- ・116富山市上布目遺跡発掘調査報告書
- ・117富山市御坊山遺跡発掘調査報告書
- ・119富山市開ヶ丘中山Ⅲ遺跡・開ヶ丘中山Ⅳ遺跡・開ヶ丘中山Ⅴ遺跡・開ヶ丘狐谷遺跡発掘調査報告書
- ・120富山市吉岡遺跡経力遺跡発掘調査報告書
- ・121富山市岩瀬天神遺跡発掘調査報告書
- ・122富山市百塚住吉遺跡発掘調査報告書
- ・123富山市栃木南遺跡発掘調査報告書Ⅱ
- ・124富山市開ヶ丘中山Ⅲ遺跡・開ヶ丘狐谷Ⅲ遺跡・開ヶ丘ヤキシダ遺跡発掘調査報告書
- ・125富山市栃谷南遺跡発掘調査報告書Ⅲ
- ・126富山市中老田C遺跡発掘調査報告書
- ・129富山市水橋清水堂南遺跡
- ・130富山市北押川C遺跡発掘調査報告書
- ・富山市北代西山遺跡発掘調査報告書
- ・富山市内遺跡発掘調査概要Ⅳ 御坊山遺跡
- ・富山市内遺跡発掘調査概要Ⅴ
- ・富山市中富居遺跡発掘調査報告書
- ・富山市水橋荒町遺跡発掘調査概要Ⅱ
- ・富山市任海宮田遺跡発掘調査報告書

富山市考古資料館

- ・富山市考古資料館紀要 第20～22号
- ・富山市考古資料館年報 No.39・40

#### <石川県>

金沢学院大学

- ・金沢学院大学博物館実習報告 第4号

#### <三重県>

嬉野町教育委員会

- ・平成13年度嬉野町文化財調査概要
- ・上尾戸窯跡群・まんじゅう山古墳群

嬉野町歴史資料館

- ・釜生田辻垣瓦窯・尾崎の古代寺院

#### <京都府>

同志社大学歴史資料館

- ・館報 第6号

#### <大阪府>

大谷女子大学

- ・博物館だより No.89

関西大学

- ・全博協会報 14 昭和58年度大会報告

#### <奈良県>

奈良文化財研究所

- ・奈良文化財研究所概要 2001 [分冊]・2002

#### <広島県>

広島県立歴史民俗資料館

- ・特別企画展 三千余基の古墳を残した霧の子孫たち

#### <愛媛県>

愛媛県埋蔵文化財センター

- ・湯築城だより 1号
- ・湯築城だより 3号

## V. 資 料

(1) 第1回企画展(「写真で見る日本古代木造塔の心礎―岩井隆次氏寄贈写真による―」)解説目録

[B5判、17頁]

- ・開催にあたって
- ・塔心礎研究の回顧と岩井氏の新研究
- ・展覧写真一覧表
- ・古代主要木造塔跡一覧

(2) 第1回特別展(「立正大学が発掘した埼玉の古代窯跡」)解説目録

[B5判、12頁]

- ・特別展開催にあたって
- ・南比企より東金子へ
- ・南比企窯跡群
  - (1) 亀の原窯跡
  - (2) 新沼窯跡
  - (3) 能瀬ヶ沢窯跡
  - (4) 鶴巻(将軍沢)窯跡
  - (5) 虫草山窯跡
  - (6) 山田(赤沼)窯跡
  - (7) 奥田(宮ノ前)窯跡
- ・東金子窯跡群
  - (1) 新久窯跡・八瀬里工房跡
  - (2) 谷津池窯跡・谷津池工房跡
  - (3) 八坂前窯跡
- ・立正大学が発掘した埼玉の古代窯跡関係文献一覧
- ・立正大学が発掘した埼玉の古代窯跡発掘調査年表



第1回 企画展ポスター



第1回 特別展ポスター

---

## 立正大学博物館年報 2

(平成15〈2003〉年度)

平成16 (2004) 年3月31日 発行

編集・刊行 立正大学博物館

---

〒360-0161 埼玉県熊谷市万吉1700

TEL. 048-536-6150 FAX. 048-536-6750

e-mail:museum@ris.ac.jp

<http://www.ris.ac.jp/museum/>

---

(印刷 東ブリ)